

令和3年度学校評価 計画

| 達成度(評価) | |
|---------|---------------|
| A | : 十分達成できている |
| B | : おおむね達成できている |
| C | : やや不十分である |
| D | : 不十分である |

| | |
|------------------|---|
| 学校名 | みやき町立北茂安小学校 |
| 1 前年度 評価結果の概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・学び合う力の育成に関しては、学力向上対策評価シートのマイプランの状況把握が十分ではなかった。家庭との連携強化のために実施した「家庭学習がんばろう週間」の取り組みは家庭からも高評価を得ていた。 ・つながり合う心の育成に関しては、他者への思いやり、倫理観や正義感など、更なる心の育成が今後の課題である。いじめ防止等については組織的対応が実践できた。 ・磨き合う生活の「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」に関しては、栄養の話等を通して苦手な食材も健康のために食べようという意識を持たせることができた。 |
| 2 学校教育目標 | <p>未来を切り拓く北っ子</p> <p>～共に学び、共に感じ、共に生きる児童の育成～【合言葉は、『共に』(みんなで一緒に助け合う、みんなの笑顔のために)】</p> |
| 3 本年度の重点目標 | <p>◎学び合う力、つながり合う心、磨き合う生活を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北っ子一人ひとりに役割を持たせ、出番を与え、認め、励ます教育活動の推進 ・合言葉『共に』につながる「優しい心、強い心」を育む教育活動の推進 |

| 4 重点取組内容・成果指標 | | | | 中間評価 | | 5 最終評価 | | | 主な担当者 | |
|----------------------|--|---|---|-------------|----------|-------------|------|---------|-------|----------|
| (1)共通評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | |
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | | 意見や提言 |
| ●学力の向上 | ●全教職員による共通理解と確実な実践 | ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教職員の割合が、85%以上 | マイプランの成果指標をもとに、学年で実践交流等話し合いを持ち、日々の実践に生かす。 | | | | | | | 野口、稲富 |
| | ○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践 | ○子どもによる授業評価を学期1回程度行う | 「子どもによる授業評価」や「北っ子スタンダード」、「授業改善リーフレット」をもとに、児童が主体的に取り組む授業、学習内容が分かる授業、力がつく授業を行う。 | | | | | | | 野口、稲富 |
| ●心の教育 | ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 | ○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童の割合が、70%以上 | 授業では、ふり返りの時間を設け、これからの自分の生き方について考えさせることで、思いやりや善悪の判断、生命の尊さについて気付かせ、他者と共によりよく生きようとする心を育む。 | | | | | | | 吉田幸 |
| | ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 | ○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教職員の割合が90%以上 | ・日常的な観察やアンケートの実施による早期発見。 ・ケース会議や生徒指導協議会による早期対応と共通実践。 | | | | | | | 中村、石井 |
| | ◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動 | ◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童(6年生)の割合が80%以上 | ・将来や進路を見据え、必要な礼儀作法を身に付けさせるための『共に』マナー検定(6年生)を実施する。 ・卒業に向けて、将来の自分について具体的に考えさせるために、「夢の教室」などの取組を行う。 | | | | | | | 石井(6年担任) |
| ●健康・体づくり | ②「望ましい生活習慣の形成」 | ②登校班で安全安心に歩いて登校できた児童の割合が95%以上 | ・HPや各種便り、メール配信により保護者への啓発と協力をお願いをする。 ・生活朝会、地区児童会、登校班長会等で、徒歩登校について指導する。 | | | | | | | 花田、白水、岩本 |
| ●業務改善・教職員の働き方改革の推進 | ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 | ●教育委員会規則に掲げる時間外勤務等時間の上限(月45時間を超えない)を遵守する。 | ・「削減」と「効率化」を視点に行事及び業務の精選と見直し、ICTの活用を進める。また、会議等を通して職員の意見を反映させながら方策を改善していく。 ・19:00に施設完了する。(金曜は18:00) ・時間外勤務の上限を超えた職員には、聞き取り等により勤務実態の把握を行い、改善に努める。 | | | | | | | 教頭 |
| (2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 | | | | 中間評価 | | 最終評価 | | 学校関係者評価 | | 主な担当者 |
| 評価項目 | 重点取組 取組内容 | 成果指標 (数値目標) | 具体的取組 | 進捗度 (評価) | 進捗状況と見通し | 達成度 (評価) | 実施結果 | 評価 | 意見や提言 | |
| ○校内研究の充実 | ・プログラミング的思考を育む授業づくり(全教科等で) | ・プログラミング的思考を育む授業実践を行った教職員の割合が100% | ・プログラミング的思考を育む授業づくりに関する研究実践の成果を地域に伝え広めるための講師招聘等による研究発表会の開催 ・月1回の校内研究の実施による共通理解・共通実践 ・各学年部における授業実践、授業研究会の実施 | | | | | | | |

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育